

ステップ2 もくじ

ひょうと グラフ ①～⑥	3
時ごとと 時間 ①～⑧	7
たし算 ①～⑳	11
2けた+1けた (くり上がりなし) ①	11
2けた+2けた (くり上がりなし) ②～⑧	11
2けた+1けた (くり上がりなし) ⑨・⑩	15
2けた+2けた (くり上がり) ⑪～⑳	16
2けた+1けた (くり上がり) ㉑・㉒	21
まとめ ㉓・㉔	22
ひき算 ①～㉒	23
2けた-1けた (くり下がりなし) ①・②	23
2けた-1けた (くり下がりあり) ③～⑥	24
2けた-2けた (くり下がりなし) ⑦～⑫	26
2けた-2けた (くり下がりあり) ⑬～⑱	29
2けた-2けた (くり下がりあり・なし) ㉑～㉒	32
まとめ ㉑・㉒	33
長さ ①～⑩	34
たし算 ①～⑥	39
和が3けた (十の位のくり上がり) ①・②	39
和が3けた (一、十の位のくり上がり) ③・④	40
和が3けた (くり上がりちゅうい) ⑤	41
和が3けた (2だんかいくり上がり) ⑥	41
ひき算 ①～⑥	42
くり下がりが1回 ①・②	42
くり下がりが2回 ③～⑤	43

まとめ ⑥	44
3けたの たし算・ひき算 ①～⑧	45
かけ算 ①～㉑	49
5のだん ⑤～⑦	51
2のだん ⑧～⑩	53
4のだん ⑪～⑬	55
3のだん ⑭～⑯	57
6のだん ⑰～⑱	59
7のだん ㉑～㉒	61
8のだん ㉓～㉕	63
9のだん ㉖～㉘	65
1のだん ㉙～㉛	67
九九表 ^{ひょう} ㉜・㉝	69
九九の れんしゅう 1～10 ㉞～㉟	70
マス計算 1～8 ㊱～㊴	75
三角形と 四角形 ①～⑩	79
長い ものの 長さ ①～⑥	84
水の かさ ①～⑥	87
10000までの 数 ①～⑩	90
分数 ①・②	95
たし算と ひき算の しき ①・②	96
答え	97

はじめに

「読み書き」はできるが、「算数はとても苦手」という子がいます。

教科書やプリントに問題がたくさんあるのを見ただけで学習意欲を減退させます。算数の勉強をする以前の問題です。そして、重症の「算数できない子」になってしまいます。それは仕方ないことなのでしょうか？

いや、何か手段があるはずです。それでは、克服させるにはどうしたらよいでしょう。

まず、「できる自分」に出会うことです。やさしい問題を少しやり、「問題ができた」ことを指導者と一緒に確認するのです。

「〇年生だからこれはできないとだめ」という思いがあったら、すぐ捨ててください。

次は、「続ける」ことです。少しでいい。何度も「できる自分」に出会い続けければ、いつの間にか「できる自分」に気付きます。子供自身が「できる自分」に気付かなければなりません。

指導者が「こんなやさしい問題はできて当たり前」と思っていたら、子供は「できる自分」に気付きません。

このプリントを少しずつでいい、励ましながら「やり切る」ようにさせてください。途中で投げ出すことなくこのプリント1冊をやり切ったとき、「算数が苦手でない自分」にきっと気付いていることでしょう。

榎谷 雄三

(学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会)

先生方へ



このプリントは「算数が苦手な支援が必要な」子のために作りました。そのために、基礎は押さえながらも、思いっきりやさしくしています。

集中力が持続しにくい子でもできるように、問題数を少なくして、書くスペースもゆったり取っています。

学校の学年・進度とは関係なくお使いください。

【本書全巻の特長】

- この巻では2年生のほぼ全単元を扱っていますが、「2年生」用とは書いていません。
「下の学年の内容をやっているのは恥」、という誤った思いを抱かせないためです。
- 問題数は少なくしてあります。
- 書くスペースを多く取っています。
- 単元の初めのページに、わかりやすい説明・工夫をしています。
- 問題は、それぞれ型分けして出題しています。
- うすい文字でやり方や解答例を示しています。まずはそれらをなぞらせてください。

《この巻の特長》

- 九九の説明、九九の練習に全体のページの3分の1を使っています。九九が正確にできるようにがんばらせてみましょう。
- たし算・ひき算は大きな桁になっています。一の位から十の位へと順次計算する繰り上がり・繰り下がりの構造が理解できたら、どんな大きな数のたし算もひき算もできるようになります。
- 易から難へと展開しています。